

大学を花でいっぱい - 花植え活動

2010.06.08

平成15年から大学内の花壇の整備、手入れ等を調布市のボランティアグループ「調布花・はな」にお願いし、環境美化を図ってきていますが、6月4日(金)に教職員(30名)・学生(5名)、特別支援学校の生徒と教員(22名)の総勢57名ほどが参加して花植え作業を行いました。

学長挨拶、そして長友調布市長の挨拶のあと、花・はなリーダーの原さんから「苗木の根は手でほぐしてから埋めるようにしましょう」との説明がありました。

慣れた手つきの人、おそるおそるほぐす人、皆さんの協力によって、15分もたたないうちに、マリーゴールド、まつぼたん、ガザニアの苗を植え終えました。

本学の校門は休日でも開いています。少しでも多くのおみなさんの目に花が映えれば・・・参加者みんなの願いです。



BBS会に参加してきました

2010.06.29

BBS (Big Brothers and Sisters)とは、保護司の監督のもと、兄や姉のつもりで保護観察対象者と交流するボランティア青年のことをいう。調布には調布BBS会があるが、最近、BBSの人数が少なくなって活動が困難になってきつつあるので、電通大生にもぜひ加わってほしいとの要望が最近寄せられた。しかし、BBSのことを知っている人は、私を含めておそらく電通大にはいないであろうと判断して、まず私がBBSの活動の様子を見学することにした。

6/6(日)午前10時、深大寺小学校向かいの都立農業高校神代農園に80余名の皆さんが集まった。BBSの人はたった数名で、大多数は保護司の皆さんと協力団体である「更生保護女性会」の皆さん。そして市長をはじめとする来賓の方々も。その中に混じって「対象者」が約5名。

当日は梅雨前の好天気で、野外活動にもってこいであった。鯉釣り、昼食、竹箒作り(写真左)、ティータイム(写真右)、懇親会と盛りだくさんの内容であった。「対象者」と話をする機会もなかった(戸惑いがあった)が、BBSの皆さんとは話ができた。「ほんのちょっとしたことで道を誤った少年に手を差し伸べたい」とのことばに大きく頷いた自分であった。また、保護観察のあと、まっとうに生きていけるのは7割程度であると何人かの方々からうかがった。

「自分自身が確固たる存在になっていないのに、他人の面倒が見られるわけがない」という声が電通大生の中から聞こえてきそうであるが、さまざまな人生を知ることは、青年の人格形成にとっておおいにプラスになるに違いない。

センター長 林



第4回キャンパス美化活動を実施

2010.7.29

7月16日(金)の午後4時20分から1時間、社会連携センター、生協学生委員会、学生課学生スタッフの協働事業として、第4回キャンパス美化活動を実施した。

今回は、7月18日(日)開催されるオープンキャンパスに、高校生や保護者等に気持ちよく参加してもらおうと企画、実施したもので、実施に当たっては、3者の担当委員の間で綿密な打合せを行って準備し、当日は、学内9グループ、学外5グループに分け、ゴミ拾いのほか、草取りを主体に作業を行った。また、学生課学生スタッフは、日頃から主体的に学内の駐輪場の自転車整理を行っているが、今回はオープンキャンパスの前日(17日)夕方に自転車整理、移動等を実施した。

当日は、梅雨明けの猛暑の中、学生、職員が約100名参加した。

【活動の概要】

- 16:20 コミュニケーションパーク集合
社会連携センター長あいさつ
作業上の注意事項（生協学生委員会代表）
- 16:30 作業開始
学内：東地区（7グループ）、西地区（2グループ）
学外：電通大通・天神通・大学敷地沿（計5グループ）
- 17:20 作業終了
作業結果報告
- 17:30 解散

【参加者数】

職員	53名
生協学生委員会	17名
学生課学生スタッフ	8名
校友会	20名
一般学生	6名
生協職員	2名
(合計)	106名



花いっぱいの方に - 花植え活動

2010.11.12

平成15年から大学内の花壇の整備、手入れ等を調布市のボランティアグループ「調布花・はな」にお願いし、環境美化を図ってきていますが、秋から春に向けての花植え作業を、11月12日（金）に行いました。

今回は、本学と連携協定を締結している調布市の長友市長、東京都立調布特別支援学校の生徒は所用や授業の関係で参加されませんでした。教職員（31名）・学生（8名）、花・はなグループ（6名）の総勢45名が参加して行いました。

梶谷学長挨拶のあと、花・はなグループリーダーの原さんから「けやきの根が張って、花が育たないため、今回工事をして花壇を整備しました。また、パンジーは根を手でほぐしてから、チューリップは球根を逆様にしないように埋めてください」との説明がありました。

今回は、花の配置を学生の提案で、チューリップが咲いたときに菱形模様に咲くように植えました。皆さんの協力によって、15分ほどで作業を終了しました。今から、来春が楽しみです。

花・はなグループには日頃から花壇の手入れをしていただき、同グループの皆さんの尽力で四季を通じて可憐な花々が咲いており、また、本学の校門は休日でも開いていますので、学生、教職員のみならず地域の皆様にも目を楽ませるとともに、潤いと親しみを与えています。



BBS (Big Brothers and Sisters) 会の活動を知るために二度目の見学をした。参加者数は、保護観察下の少年数名、BBS会員数名、保護司50余名、更生保護婦人会員約10名、法務省の関係者数名、その他数名であった。(詳しい数字は後日記入)

みなさん熱く燃えていた。それもそのはず、調布が誇る名刹深大寺の掃除と仏具磨きができ、しかも、好天気で人出が多い中を堂々と中に入ることができるのだから。

BBS会には前回(6/29/2010)以来、若いメンバーが3人増えていた。そのうちのひとりに思いを聞いたところ、育った土地の近くに少年院があって子どものころから関心をもっていたとのことであった。

午前中の開山堂まわりの落ち葉拾いは相当の作業量で、今でも筋肉痛がしている。昼からの仏具磨きは筆者にとって初めての体験であった。陽が差す渡り廊下に陣取って、研磨剤を使ってひたすら磨いた(写真)。隣のかたと「きれいになりましたね」と言葉を交わした。杉並保護司会から見学においでになったかたであった。休憩のあと本堂に集まって護摩焚きを見守った。燃えさかる炎に挟まれて、磨きたての燭台やその他の仏具が祭壇に並んでいた。

閉会式のあとは近くのお好み焼き屋で保護司会・BBS会合同の懇親会、そして二次会。ある保護司のかたがおっしゃるには、少年が更生していくために手を差し伸べることができること、仲間の保護司のかたがたときずなが深まることがうれしいとのことであった。

センター長 林



第5回キャンパス美化活動を実施

2011.1.13

1月11日(火)の午後4時20分から1時間、社会連携センター、学生課学生スタッフ、留学生有志が主体となって、第5回キャンパス美化活動を実施した。

今回は、1月15日(土)・16日(日)に行われるセンター試験を前に、職員と学生が協力して学内外の落ち葉やゴミを収集し、キャンパス内外の美化に努めることを目的に企画、実施したもので、当日は、学生と職員のペアで学外6グループ、学内20グループに分け、主に落ち葉掃きを中心にゴミ拾いを行った。また、受験室となる建物では、教室内の清掃、点検も行った。なお、収集した落ち葉(イチョウは除く。)は、花植え活動で協力いただいている「調布花・はなの会」と共同で、堆肥化に取り組むことにしている。

当日は、寒波で厳しい寒さの中、職員・学生が約80名参加した。

【活動の概要】

- | | |
|-------|--|
| 16:20 | コミュニケーションパーク集合
社会連携センター長あいさつ
作業上の注意事項説明(学生課学生スタッフ) |
| 16:30 | 作業開始
学外:電通大通・大学敷地沿(6グループ)
学内:東・西地区のメインストリート・試験実施教室周辺及び教室(20グループ) |
| 17:20 | 作業終了・解散 |

【参加者数】

職員(非常勤講師を含む。)	54名
生協学生委員会	17名
学生課学生スタッフ	7名
留学生有志(スタッフ参加)	4名
日本人学生有志(スタッフ参加)	2名
一般学生	13名 (うち生協学生委員会4名、無線部5名)
生協職員	1名
(合計)	81名

